

3 利用促進

2019年度の利用促進について、報告する。

1-1 産業利用コーディネーター

2019年度より佐賀県内の産業振興を目的に産業利用コーディネーター(2名)を新たに配置した。佐賀県内の企業及び試験研究機関を訪問し、課題解決のため技術分野に関する支援を行った。

1-2 利用相談等

企業、大学及び公設試験研究機関等からメール、電話及び来所等により多くの利用相談が寄せられ、随時相談に対応した。

また、実験終了後に実験責任者からビームタイム利用記録兼アンケート用紙を収集し、その要望を基に利用改善に努め、必要に応じて実験責任者へ報告を行った。

さらに、当研究センターの利用サービスの詳細をまとめた「利用の手引き 2019」を配布した。

1-3 講習会等

当研究センターでの利用促進を図るため、「SAGA-LS サマースクール 2019」(2019年8月21日～23日、20名参加)を実施した。また、企業利用支援セミナーを開催し、県内企業の利用促進に努めた。詳細は、V章で述べる。

1-4 光ビームプラットフォーム

2013年度4月から、文部科学省先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業に基づいて、当研究センターを含めたシンクロトロン放射光施設6機関とレーザー施設2機関で構成される「光ビームプラットフォーム」(<http://photonbeam.jp/>)に参画している。

全国的な視野で利用情報の発信、共通技術の開発、

人材交流等を行い、利用者の利便性向上や裾野の拡大に取り組んだ。参画機関は以下の8機関である。

[代表機関]

- ・大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構(物質構造科学研究所)

[実施機関]

- ・公益財団法人佐賀県地域産業支援センター九州シンクロトロン光研究センター
- ・公益財団法人科学技術交流財団(あいちシンクロトロン光センター)
- ・立命館大学(SRセンター)
- ・公立大学法人兵庫県立大学(高度産業科学技術研究所)
- ・学校法人東京理科大学(総合研究院赤外自由電子レーザー研究センター)
- ・国立大学法人大阪大学(レーザー科学研究所)

[連携機関]

- ・公益財団法人高輝度光科学研究センター(SPring-8登録施設利用促進機関)